

豪雨災害を乗り越え地域を守る！ 集落営農組織の合併による農地維持活動

【類型】 水稻 + 露地野菜 + 作業受託

【組織名】農事組合法人ふあー夢宗呂川(平成26年1月設立)

【所在】高知県土佐清水市

【農業地域類型】中山間農業地域

【構成戸数・人数】17戸・17人

【経営規模】※令和4年実績

水稻(主食用米、飼料用米) 28.9ha

野菜(ブロッコリー) 0.5ha

作業受託 代かき:30a 畦塗:343m

育苗:53枚 田植え:45a

粃摺り:118袋 色選:156袋

ドローン防除:85.4ha



(農)ふあー夢宗呂川設立総会

設立の経緯

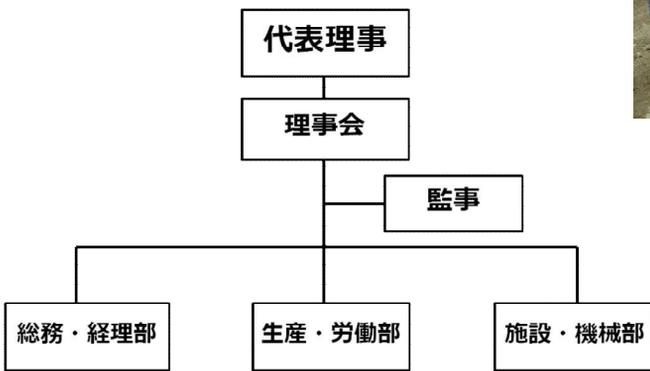
- 宗呂川流域の3集落(下川口郷、宗呂下、宗呂上)では、平成13年9月に土佐清水市を襲った高知西南豪雨災害により、農地の流亡や農機具の損害などの大きな被害を受けた。この災害を契機に、3集落で集落営農の取り組みを開始し、各集落で集落営農組織を設立した。
- 平成20年度に、こうち型集落営農のモデル地区として3組織が連携した活動を始め、その年に3組織を合併し「ふあー夢宗呂川(任意組織)」を設立した。設立後は3集落の水稻作業の集積を進め、平成26年1月に法人化し、地域の農地の半分以上を担う法人となった。

取組の特徴・効果

- 水稻を中心として、飼料用米を栽培。また、土佐清水市のブランド「あしずり黒潮米」の栽培にも取り組んでいる(7.6ha)。
- 法人として環境保全型農業直接支払制度に取り組んでいる。
- 3集落の農地の半分以上を集積しており、法人が地域の農地の担い手となっている。
- 法人の役員が各集落の役職を担っている。また、地元の祭りや行事等にも中心的に参加しており地域社会の維持、発展にも貢献。
- 令和4年から担い手確保の取組として、地域住民との意見交換会を開催している。
- 市内の4組織で広域連携組織を立ち上げ、ドローン2機を導入。令和3年からドローン防除に取り組んでいる。

【具体的な取組内容】

組織図



ブロッコリー栽培(移植作業)



水稲収穫作業



ミニライスセンター



宗呂川地域意見交換会

【主な機械・施設】

施設・機械名	台数	能力・規模
トラクター	6台	31ps、34ps、37ps、45ps × 3台
ハロー	5台	2.8m × 2台、3.5m × 3台
畦塗機	2台	30ps対応
田植機	2台	5条植 × 2台
コンバイン	3台	3条刈 × 2台、4条刈(グレンタンク)
粃コンテナ	2台	
乾燥機	5台	20石 × 2台、40石 × 3台
放冷タンク	2台	40石 × 2台
ブロードキャスター	2台	200L
粃摺機	1台	5インチ
播種機	2台	バラ播用、みのもろポット用
管理機	1台	5ps
畦立機	1台	7ps
野菜移植機	1台	2.4ps
パイプハウス	2棟	450㎡、632㎡
農業用倉庫	2棟	200㎡、81㎡
色彩選別機	1台	5インチ対応
低温貯蔵庫	1台	
乾燥調整ライン	一式	
フォークリフト	1台	1.5t
ブレンドキャスター	1台	

【課題・今後の取組】

- 設立当初の集落ビジョンも一区切りとなり、今後5年間の経営ビジョン、収支計画を策定、実行していく。
- 1筆が8aという狭隘なほ場ばかりで管理のためのコストがかかっている。
基盤整備事業に取り組み、低コスト・省力化を進めていく。
- 専従者(後継者・担い手)を組織に確保していくため、地域の意見交換会を継続した取組にしていく。
- 広域連携組織での取り組みを継続、活性化させていく。